

第10回情報システム学会 全国大会・研究発表大会 開催報告

大会実行委員長 永田奈央美（静岡産業大学）

2014年11月29日(土)、30日(日)と静岡産業大学藤枝キャンパスを会場に、第10回全国大会・研究発表大会が開催されました。今回の第10回全国大会・研究発表大会は、「新しい風をおこす情報システム学-人間中心の情報システムと経営のあり方-」をテーマとし、これからの新情報システム学への橋渡しとなる議論の場を提供しました。大会2日目には、「新情報システム学序説の説明と討議」をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。

本大会では、一般発表36件、研究会報告7件、合計43件の発表・報告があり、情報システムの本質的な視点、歴史的な事例や考察、企業・組織からの視点、利用者側からの視点など、活発な議論・意見交換が行われました。大会当日は、全国の大学、企業、などから101名の参加をいただきました。特別講演では、株式会社アルモニコスコンサルティング取締役会長 秋山雅弘氏の「情報技術を活用した新産業革命」、静岡産業大学総合研究所所長、学校法人新静岡学園理事長 大坪檀氏の「方針管理と理想設計論」の講演がありました。大会当日の昼時には、静岡県産緑茶の試飲会や物産展を行いました。また、大会当日の夕方には「島田宿 百小屋」にて情報交換会を開催し、49名のご参加をいただきました。静岡の地のものを囲みながら活発に情報交換を行い、大いに盛り上がりました。本大会は、会場校 静岡産業大学の理念とミッション“地域経済のための人材育成、研究、地域貢献”を大いに活性化させることができたのではないかと思います。皆様には大変感謝しております。

この情報システム学会の全国大会を開催するにあたり、たくさんの方々のお力を拝借し、また温かい励ましをいただきました。静岡での全国大会を無事終了することができましたことをここにご報告いたしますとともに、静岡県内外の団体、企業から、たくさんの協賛・後援をいただきましたことを改めてご報告およびお礼申し上げます。

皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。